

2024. 9. 9 図鑑の魅力

最近、子供たちの遊びも多様に広がりはじめ、トンボやバッタなどの昆虫、光や影遊び、スライム遊び、お店屋さんごっこやお家ごっこ、化石発掘や宝石作り、電車作り、病院ごっこなどなど、いろいろな遊びがそれぞれの場所で展開されています。

その中で、図鑑を見ている子供たちの姿をよく見ます。

年中の男の子は、黒い幼虫を見つけます。

「これ何の幼虫かな？図鑑にのってないかな？」

「いたいた！これだ！この幼虫は『セスジスズメ』って言うんだ！」

「先生！忘れないように名前を書いて貼っておこうよ！」

さらにページをパラパラめくると、チョウのページになりました。

「あ！これ前捕まえたよね！ツマグロヒョウモンっていうんだ！」

「似ているのもたくさんあるね！」「この虫も知ってるよ！」

「これ捕まえてみたいなー！」図鑑に載っている昆虫の写真や情報から子供たちの会話が広がっていきます。

その他にもアルミホイルを丸めて、金づちで叩きながら、宝石を作っている年長の男の子たちは、宝石・鉱石の図鑑を見て、「僕はアメジストが好きだなー！」「えーサファイアのほぅがかっこいいよ！」と色や形などを見ながらお互いの思いを伝え合っています。年中の男の子は「僕、ラピートが好きなんだ！」とその写真を指差し教えてくれました。牛乳パックを抱えた年長の男の子は、「この『はやぶさ』を作るぞ！」と図鑑で新幹線はやぶさの色や線を嬉しそうにチェックしています。

自衛隊好きな年長の男の子は、図鑑をじっくり観察しながら二つプロペラがある自衛隊ヘリを作っていました。

図鑑は、知りたい！調べたい！というときにすぐに手にとり、調べることができるツールです。

それと同時に、知りたい情報以外の情報もたくさん載っています。5月にウシエイの事例を紹介しましたが、ページをめくるたびに新たな発見があったり、今まで見たことあるものや経験を知識としてつなげたり、習得したりする機会になるかもしれません。

図鑑に載っていないものは、子供たちはタブレットで検索をします。子供たちも調べるツールとして図鑑とタブレットも使い分けています。

そして、図鑑を見ながら、いつか乗ってみたい、実際見て見たいとあこがれを抱くこともあるでしょう。

図鑑には、たくさんの種類の虫、魚、鳥などの生物、宝石、植物など身の回りには知らないことがたくさん載っていて、子供たちに未知なる世界への入り口になっているのかもしれません。そこには図鑑に載るまでに長年未知なるものを発見し、記録してきた先人の思いも込められていることも胸に刻んでおきたいです。

そのような図鑑との関わりも保育の中で大切にしていきたいと思います。

